



氏名	杉本 一真
所属	現代システム科学域 マネジメント課程
学年	4年
留学先	語学研修 (シェフィールド大学)
留学期間	2024/8/11~2024/8/31

留学レポート Study Abroad Report

【あいさつ】

大阪府立大学現代システム科学域マネジメント学類の杉本一真です。私は 3 週間ほどイギリスのシェフィールド大学(ロンドンから 2 時間半ほどです)に行ってきました。私の経験が皆さんの行き先の決め手になればと思います！

【授業】

大学では平日は金曜日を除いて 90 分授業が 3 コマありました。授業の内容としては TED の教材を使ってリスニングや話し合いなどを行いました。他にもボードゲームやクイズなど基本的に楽しみながら受けられる内容の授業でした！1~2 限はテストによって分けられたクラス、3 限は自分の興味によって選べる授業で、私は Business English という人材や雇用に関する授業を選択していました。また、水曜日の 3 限だけイギリスの文化について学習できる授業をオンラインで受け、イギリスの文学や一風変わった方について知ることができました。

【寮について】

寮は大学から徒歩 10 分くらいの所にあり、基本的に防犯の設備はしっかりしている建物でした。部屋があるだけでなく、卓球やビリヤード、シアタールームといった場所も準備されていて、そこで他大学の人と交流することもできました。また、部屋に関しては公立大生はまとまって個室と共用スペースがある大きな部屋で生活する形式で他国の人と同室で寝るといったことはありませんでした。

【食事】

食事に関しては物価が高いこともあって、朝食や夕食は自炊している人が多かったです。基本的な調理器具は入寮時に準備されていたので、近くのスーパー(Lidl が安くてお勧めです!!)で食材を買えば良いだけでした。昼食に関しては、近くの飲食店か大学内のカフェテリアで買う人もいれば寮に戻って自炊する人もいました。私は、カフェテリア内に PS4 があり、そこで海外の方とゲームをしながら食べたり近場の公園に行ってお弁当を食べたりしていました。

【シェフィールドについて】

シェフィールドはイギリスの中心にある落ち着いた街でした。ただ、基本的に坂道が多くどこに行くに



OMU Students 海外留学レポート

も坂を登る必要があるのですが、そこは皆さん覚悟しておいた方がいいと思います笑。街には古着屋やレストランがたくさんあり、夜にはクラブやバーに行くこともできます。街の方々も留学生に慣れているのか気さくな方が多く、わからないことがあったら話しかけてくださることが多かったです。私はサッカー観戦が趣味だったので、大学から30分程のシェフィールド・ユナイテッドというチームの試合を何度か見に行きましたが、ユニフォームを着て歩いていると何度も話しかけてもらったので現地の人と自分の趣味の話ができる非常にいい経験になりました！また、自然も豊かな場所で、大学終わりに公園に行ったり山へハイキングに行ったりなどやる事には尽きない街だと思います。



少しバスで行くとこんな風景が
広がっています



ファンサービスも凄く
サインや写真も撮ってもらえます！

【休日】

休日はエディンバラやリヴァプール、湖水地方といったイギリスの観光名所に旅行することができます。この研修では3回土日があったので、前後泊も込みにすればロンドンを含むイギリスの有名都市を回り回ることができると思います！学校の方でも毎週休日にはヨークやノッティンガムなど近場の都市に5£で行ける日帰り旅行のプランがあり、治安の面から夜行バスを使うのが不安な人も近場に安価でお出かけすることもできます。私は学校のプランも個人旅行も行きましたが、学校は時間通りにバスが来てくれるので特に支障はなかったのですが、夜行バスや電車などは時間通りにはつかないことが大半でした。中には2時間前に何の連絡もなく電車の運行がキャンセルになることもあり、どんなトラブルが起きることも覚悟しておいたほうがいいかもしれません。ただ、イギリスの街はどこも本当に美しく、歩いているだけでドラマや映画の世界に入り込んだかのような気持ちになれます。ビッグベンやバッキンガム宮殿といった写真で見たことがあるものも実際に自分の目で見た時に感動は筆舌に尽くしがたいものでした。ぜひとも皆さんの足で実際に様々な場所を訪ねてみてください！

【最後に】

以上が私の語学研修での経験を簡単にまとめたものになります。これ以外にももちろん苦戦したことや楽しかったこと、驚きに満ちた語学研修でしたが、どの瞬間を切り取っても海外の方と英語を使って交流することは非常に楽しい経験でした。皆さんが実際に留学に行くか悩んでこのレポートを読まれているのであれば、私からお伝えしたいことは「とりあえず挑戦してみよう！」ということです。自分の中に英語のスキルや海外の方と本当に仲良くなれるかなど不安な要素はあるかもしれませんが、研修に行ってしまうえば英語を使わないといけない環境に自分を追い込むことができますし、私たちも海外の方から片言の日本語で何かを聞かれたらどうにか助けてあげようと思うように、イギリスの方も私たちが完璧な英語を話せなかったとしても何とか意図をくみ取ろうとしてくれます。ですので、ありふれた言葉



Osaka
Metropolitan
University

OMU Students 海外留学レポート

にはなってしまいますがとにかく挑戦してみてください！皆さんの留学が少しでも実りのあるものになることを願ってます！